

下水道台帳管理システムバージョンアップ業務委託

特記仕様書

第1章 総則

第1条（適用）

本仕様書は、五條市（以下、「発注者」という。）が委託する「下水道台帳管理システムバージョンアップ業務委託」（以下、本業務という。）に適用する。

第2条（目的）

「発注者」が運用中の下水道台帳管理システム（以下、本システムとする。）は、下水道行政の効率化、住民サービスの向上に寄与しているが、平成24年度の導入から約10年が経過しており、既存システム（機器）の耐用年数を越えていることから、新ハードウェアへの移行及びシステムバージョンアップを行うことで、「発注者」業務の効率化と、住民サービスの維持を図るものである。

第3条（準拠する法令等）

本業務の実施については、本仕様書に定めるもののほか、次に掲げる法令等に準拠して実施するものとする。

- (1) 測量法・測量法施行令・測量法施行規則
- (2) 下水道法・下水道法施行令
- (3) 地理空間情報活用推進基本法
- (4) 作業規程の準則
- (5) 公共測量作業規程の準則
- (6) 地理情報標準第2版
- (7) 地理情報標準プロファイル
- (8) 日本版メタデータプロファイル
- (9) ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）認証基準
- (10) QMS（品質マネジメントシステム）認証基準
- (11) プライバシーマーク認証基準
- (12) 五條市会計規則
- (13) その他関係する法令及び規程等

第4条（提出書類）

「受注者」は本業務の着手に先立ち、下記の関係書類を「発注者」に提出し、承認を得るものとする。

- (1)業務着手届
- (2)業務計画書
- (3)管理技術者等選任通知書及び経歴書
- (4)業務工程表
- (5)情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の取得証明書の写し
- (6)品質マネジメントシステム（QMS）の取得証明書の写し
- (7)プライバシーマーク取得証明書の写し
- (8)その他必要と認められる書類

第5条（業務の実施体制等）

「受注者」は、本業務の円滑な進捗を図るため、以下の資格を有する管理技術者を選任しなければならない。

(1)管理技術者

測量士の資格を有し、本業務と同様な業務を実施した実績のある技術者を配置すること。

（同様の業務：下水道台帳管理システムのバージョンアップもしくは機器更新に伴うシステム移行業務）

(2)照査技術者

地理情報システム（GIS）関連業務であることから、空間情報総括監理技術者の資格を有するもの

第6条（関係官公署等への手続き）

作業実施のための必要な関係官公署等に対する諸手続きは「発注者」「受注者」の協議の上、「受注者」において迅速に処理しなければならない。なお、「発注者」にのみ申請可能な手続きは「発注者」が実施するものとする。

第7条（損害賠償）

本業務中に生じた事故等や第三者に与えた損害については、「受注者」の責任において解決するとともにその顛末を迅速に「発注者」に報告するものとする。

第8条（守秘義務及び個人情報の保護）

「受注者」は本業務に関する事項及び業務上知り得た行政情報の一切について、これを外部に漏洩してはならない。

五條市個人情報保護条例の規定を遵守するとともに、委託を受けた個人情報等の秘密保護を図り、善良なる管理者の注意をもって管理し、外部への漏洩、滅失、毀損等を防止しなければならない。

「受注者」は、「個人情報の取り扱いを適正に行う体制等を整備していることを証する「P マーク（プライバシーマーク）」及び「情報マネジメントシステム認定センター」による ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム：JISQ27001:2023）適合性評価制度」の認証を受けている団体であることとする。

第 9 条（照査）

「受注者」は本業務の履行にあたり、作成するデータの品質確保を図るため、業務実施時において照査を実施するものとする。

なお、照査を行う際は、品質マネジメントシステム認証制度に基づき実施する必要があることから、「受注者」は一般財団法人日本科学技術連盟が認める QMS（品質マネジメントシステム：JISQ9001:2015）の認証を受けているものとする。

第 10 条（成果品の瑕疵）

納品後、成果品に瑕疵が発見された場合、「受注者」は「発注者」の指示に従い必要な処理を行なわなければならない。なお、瑕疵に対する処理経費は「受注者」が負担するものとする。

第 11 条（成果品の帰属）

本業務の成果品及びデータは、全て「発注者」の所有とし「発注者」の承諾を受けずに他に公表、貸与または使用してはならないものとする。但し、「受注者」が従前から有していたプログラム構成部品の著作権の事項については対象から除くものとする。

第 12 条（検査）

「受注者」は業務完了後、速やかに完了届および所定の業務成果品を提出し、「発注者」の検査を受けなければならない。また、「受注者」は、「発注者」の検査により業務成果品に不明箇所等が認められた場合には、「受注者」の責任により修正を行わなければならない。

第 13 条（貸与資料）

「受注者」は、本業務に必要と認められる資料を「発注者」より借用できるものとし、借用した資料は責任を持って保管し、紛失及び汚損等を生じないように十分注意するとともに業務終了後に速やかに「発注者」に返却するものとする。また、複製した資料は作業終了後速やかに廃棄処分を行うものとする。

第 14 条（疑義）

作業過程において疑義が生じた場合は、「発注者」「受注者」協議の上、「受注者」はその決定に従うものとする。

第 1 5 条（履行期間）

本業務の履行期間は、契約締結の翌日から令和 8 年 3 月 2 7 日とする。

第 1 6 条（納入場所）

五條市役所下水道課

第2章 バージョンアップ

第17条 (バージョンアップ概要)

バージョンアップの概要は、以下の通りとする。

(1)計画準備	1 式
(2)機器調達	1 式
(3)打合せ協議	1 式
(4)データ移行	1 式
(5)システム移行	1 式
(6)操作研修	1 式
(7)報告書作成	1 式

第18条 (ハードウェア調達条件)

ハードウェア調達条件は以下の通りとする。

- (1)調達するハードウェアは、調達日から5年以上の保証（保守）をつけること。
- (2)調達するハードウェアはセットアップ済の状態での納品すること。
- (3)調達するハードウェアのドメイン参加や庁内 LAN への接続・ネットワーク設定は「発注者」が行うものとするが、必要な場合は「発注者」の指示に従い作業補助を行うものとする。

第19条 (ハードウェア調達)

調達するハードウェアは下記と同等以上のスペックを有するものとする。

□デスクトップ PC

No	項 目	仕 様	数 量	備 考
1	下水道台帳システム用 PC	・プロセッサ:Core i7 14700 vPro(33MB キャッシュ、20コア、28スレッド、最大周波数 5.3Gh) ・OS:Windows11 Pro ・メモリ:64GB ・ストレージ:512GB SSD ・23.8 型ワイド液晶ディスプレイ ・光学ドライブ:マルチディスク ・キーボード、マウス	1 台	設置場所:下水道課 執務室内 サーバ兼クライアント 端末
2	窓口閲覧システム用 PC	・プロセッサ:Core i7 14700 vPro(33MB キャッシュ、20コア、28スレッド、最大周波数 5.3Gh) ・OS:Windows11 Pro ・メモリ:16GB ・ストレージ:512GB SSD ・光学ドライブ:マルチディスク ・キーボード、マウス	1 台	設置場所:下水道課 執務室内 窓口閲覧用端末

□タッチパネルモニター

No	項 目	仕 様	数 量	備 考
1	モニター	23.8 型ワイド液晶ディスプレイ	1 台	窓口閲覧 PC 用

□バックアップ装置

No	項 目	仕 様	数 量	備 考
1	ハードディスク	4TB	1 台	

□ソフトウェア（ハードウェアにセットアップ済のもの）

No	項 目	仕 様	数 量	備 考
1	Office ソフト	Office LTSC Professional Plus 2021	1 台	
2	ウイルス対策ソフト	オフライン環境にてパターンファイル更新可能であるもの	2 台	

□その他必要な備品

No	項 目	仕 様	数 量	備 考
1	LAN ケーブル	Cat6 準拠/15m	2 本	
2	スイッチングハブ	5 ポート Giga 対応 電源内蔵 金属筐体 マグネット付	1 台	

第 20 条 ソフトウェア調達

インストールするソフトウェアは以下の内容を参考とすること。

区分	項 目	仕 様	数 量	備 考
ソフトウェア	DBMSソフト	SQL Server Express	1 式	
	アプリケーション	下水道台帳管理システム	1 台	別紙機能一覧参照
		窓口閲覧システム	1 台	
		Map Quest Dotnet 同等品 (サーバ用)	1 ライセンス	
		Map Quest Dotnet 同等品 (クライアント用)	2 ライセンス	

第 21 条（計画準備）

作業を適切に実施するにあたり必要な機材の選定、人員の配置体制、作業工程を立案し、業務計画書を作成するものとする。

業務計画書作成に当たっては、業務を合理的かつ正確に履行するため、工程毎の作業方法及び業務実施体制を含め、余裕を持った計画としたうえで、それに合わせた業務履行体制を整えるものとする。

第 22 条（打合せ協議）

業務の着手時及び主要な区切り時において打合せ協議を行うものとする。

打合せ協議は業務着手時、中間報告、成果品納入時の計 3 回を基本とし、業務着手時、成果品納入時には管理技術者が出席するものとする。

「受注者」は、打合せ記録簿を作成し、内容を明確にして「発注者」の承認を得るものとする。なお、打合せ記録簿は、2 部作成し、「発注者」「受注者」が各 1 部ずつ保管すること。

第23条（データ移行）

1 データ調整

- (1) システムバージョンアップにあたり、【別紙2：移行対象データ一覧】に記載されている各種レイヤ及びデータ種別の選別を行い、またその体系について整理するものとする。
- (2) 整理は、まずデータ種別（ポリゴン、ライン、ポイント）で区分し、それらをカテゴリ毎に統合するものとする。
- (3) 整理したデータについて、今後のシステム運用に支障をきたすようなデータエラーがないか確認するため、論理検査を実施するものとする。
検査内容：人孔と管渠の接続、取付管と人孔もしくは管渠の接続、取付管の向き等の検査を行う。
- (4) 調整を行ったデータについては、詳細なデータ設計書を作成し、区分・種別等を改めて定義するものとする。
- (5) レイヤ構成・データ項目等に変更が生じる場合は、必ずデータ設計書に反映させるものとする。

2 データ移行

- (1) 前項で作成したデータ設計書を基に、既存データをバージョンアップ後システムに搭載可能なデータ形式に変換を行うものとする
- (2) 変換したデータを、バージョンアップ後システムに搭載すべく必要な環境設定を行うものとする。
- (3) 民間地図（各建物の名称や居住者名・住所番地などを記した地図）について、契約時の最新版の調達を行い、搭載設定を行うものとする。また民間地図の住所番地や建物名称を入力することで簡便な操作で該当位置へ地図とびできるよう設定を行うこと。
- (4) 航空写真について、貸与される最新データの搭載設定を行うものとする。
- (5) 地番図について、貸与される最新データの搭載設定を行うものとする。
地番を検索することで該当番地へ地図とびできるよう設定を行うこと。

第24条（システム導入調整）

1 システム環境構築

- (1) システムバージョンアップを行うための作業環境を構築する。
- (2) システム構成はクライアントサーバー形式とし、職員で編集したデータは窓口閲覧システムで即時、もしくは簡便操作で窓口システムへ反映が行われること。
- (3) バージョンアップ後システムの機能は機能一覧の通りとし、機能毎に必要な条件や設定値等を整理するものとする。特に下水道専用機能（属性管理・入力編集・上下流追跡・縦横断作図）において、新たに必要な情報や定義事項がある場合は、そのことについて事前に発注者と協議すること。機能一覧の機能が動作するため

に、これまで職員で直営更新してきた管渠・人孔・柵図形データ・属性データのクリーニング作業を行うこと。(例) 最下流の人孔から最上流の柵までネットワーク追跡を行うことができるよう調整を行うものとする。疑義があれば質問を提出し、協議のうえでデータの修正を行うものとする。

(4) マイクロソフト社製ブラウザ (Microsoft Edge) 及びマイクロソフト社製 OS (Windows11) に対応するよう、バージョンアップ設定を行うものとする。

(5) 2 バージョンアップ後のシステムを、調達ハードウェアへ移行するものとする。

① DBMS ソフトウェアのインストール

② GIS パッケージソフトウェアのインストール

③ システム定義設定

(6) 構築したシステム環境にヒアリングを行いながら、機能要件の整理や各種機能の設定・調整を行うものとする。システムの機能要件は、【別紙 1：システム機能要件一覧】のとおりとし、すべての機能を利用できるよう設定調整を行うこと。

(7) 構築するシステムを運用するために必要な ID、パスワードの設定、ユーザ及びグループ毎の権限設定、セキュリティ設定を行うものとする。

(8) 「受注者」はシステム本稼働前に、システムの仮稼働 (テスト環境の構築) を行い、表示時間、表示内容システム機能について確認し、「発注者」の仕様を満たすよう各種調整を実施するものとする。なお、システム仮稼働時期や確認項目の詳細は「発注者」と協議し、決定すること。

(9) 現行システムに搭載されているデータ及び新規搭載データを、調達ハードウェアにセットアップするものとする。

(10) データセットアップ後、動作テストを行い、「発注者」の承認を得るものとする。また、ユーザに紐づく各種設定 (主題図、レイヤセット、印刷テンプレート等) についても現行環境の設定を可能な限り移行するものとする。なお、移行に不都合が生じた場合は、「発注者」「受注者」協議の上、決定すること。

第 25 条 (操作研修)

初回導入時、導入したシステムの利用者 (職員) に対して、操作研修を行うこと。研修用テキストは操作マニュアルを活用し、地理情報システムを利用したことがない職員でも操作手順等がわかるように、画像等を利用した補足資料を作成すること。

会場の手配、職員への通知などは本市担当者が実施するが、必要機材・時間・タイムスケジュール等は、事前に報告し協議すること。

第 26 条 (報告書作成)

前項までの作業内容についてとりまとめを行い、業務報告書を作成するものとする。

第 27 条 (バージョンアップ期間)

前項までの作業は、令和 8 年 3 月 27 日までに完了することとする。

第28条（ソフトウェア保守）

引渡し日から令和9年3月31日までの期間において、以下の保守サービスについて提供するものとする。サービス内容は以下の通りとし、これ以外の作業が発生する場合については別途協議できるものとする。

サービス分類	サービスメニュー	サービス内容	実施サービス
問い合わせ対応	問合せ受付手段	保守対象システムの動作不良やシステム操作に対する問い合わせ受付手段	FAX・電子メール 電話(サポートセンター窓口等)
	問合せ受付時間	対象システムに関する問い合わせ受付時間	電話:発注者の業務時間 (8:30～17:15) ※緊急時:24時間365日 電子メールの対応
	回答までの時間	受付内容に関する回答期限の設定。	詳細については、別途協議して決定すること。
	回答の手段	回答の連絡手段の設定	電話・電子メール
障害対応	障害対応	対象システムにおける障害対応方法の設定	製品に関連する障害については、原因を調査するため、現地にて対応すること。現地において困難な場合は、受注者の作業場所に引き取り対応できるものとする。
安定運用	定期点検	対象システムの定期点検実施方法の設定	1回/年とする。なお、時期については発注者・受注者協議の上決定するものとする。
	顧客環境の保持	保守運用サービスを遂行するために、対象システム環境を受注者が保持する	システムの動作検証が可能な予備環境を用意する。なお、予備環境は受注者にて保持するものとする。

第29条（ソフトウェア保守の適用除外）

本システムが次の各号のいずれかに該当することにより機能不全に陥った場合、ソフトウェア保守の義務を免れるものとする。

- ・取り扱い不注意など発注者の使用上の責に帰する事由
- ・火災、風水害、地震等の天災地変及びその他の不可抗力によって生じた障害の復旧
- ・マニュアルに記載された操作方法以外の方法によるライセンス物件の使用
- ・契約以外のソフトウェアのインストール又は使用により生じたソフトウェア及びシステムの障害
- ・その他通常の使用以外の原因

第4章 成果品

第30条（成果品）

成果品は、以下の通りとする。

＜バージョンアップ＞

（1）報告書	1 部
（2）操作マニュアル	1 式
（3）上記電子データ	1 式
（4）ハードウェア	1 式
（5）民間地図	2 ライセンス
（6）GIS エンジンライセンス証	2 ライセンス
（7）その他「発注者」の指示するもの	1 式

別紙1：システム機能要件一覧

(1) 基本機能

機能名称		機能概要
地図表示	ズーム	表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小
		表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し拡大・縮小
		指定の縮尺で地図を画面に表示
		マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小
	移動	マウス操作により表示地図の任意の箇所1点を指定し、指定した箇所を画面の中心に表示
		マウス操作により地図をつかんだようにして移動
		座標値を任意に入力して、入力した座標位置を中心に地図を画面表示
	地図サイズ変更	地図画面がウィンドウサイズに連動
	戻る・進む	地図の表示状態に関して、操作前（後）の表示範囲にもどる（進む）できる
	全域表示	地図の全域を表示
地図表現	ラスター	ラスターデータをレイヤとして重ね合わせる。 （例）航空写真を透過して住宅地図の上に重ね合わせ閲覧することができる。
	ベクター	ベクターデータをレイヤとして重ね合わせる。 （例）住宅地図を透過して航空写真の上に重ね合わせ閲覧することができる。
レイヤ管理	レイヤ表示	画面上に表示させるレイヤのON/OFFを任意に切替える。レイヤの重ね順を変更できること。
		システムで管理されるレイヤを階層毎に分類してレイヤツリーとして表示
		レイヤごとに、線種、線色、塗りつぶし色等の表現（スタイル）を設定・変更
		レイヤの表示を任意の縮尺範囲でのみ表示されるように設定・変更
	レイヤセット	複数のレイヤセットが保存可能。主題図を適用して保存できること。レイヤの重ね合わせの順を保存できること。
		保存されているレイヤセットを呼び出す事で、瞬時に多数のレイヤのON/OFFやスタイルを切り替えできること。
		ログアウト時にチェックONしていたレイヤセットを、次回起動時に自動的に適用できること。
		ユーザ単位に起動時に表示されるレイヤセットを登録できること。
マイレイヤ	レイヤ作成	ユーザー独自のレイヤを作成することができること。 作成できるレイヤの種類は「アイコン」「ライン」「ポリゴン」

機能名称		機能概要
		「文字」とし、職員で独自に地物の編集ができること。編集の際、背景の地物にスナップして座標が完全一致した図形を描くことができること。スナップ対象は複数レイヤから選択でき、「点スナップ」「線スナップ」「コーナースナップ」から選択できること。文字はフォント、大きさ、色を選択し1点指定で発生させるほか、2点指示により自由に大きさを指定できること。色はあらかじめ用意されたカラーパレット等で色を作り出すことができること。
	属性追加	マイレイヤには、属性テーブルを及びファイリングデータの追加が可能であること。属性テーブルにはテキスト型、日付型、文字型、数値型のフィールドを自由に追加可能であること。
ツールチップ	吹き出し表示	地物が持つ属性情報を、マウスを地物の上に近づけるだけで吹き出し表示できること
索引図	索引図表示	メインの地図画面とは別に索引図を表示し、メイン地図画面の表示領域を示すことができること。索引図は複数設定することができること。
		索引図上をマウス操作でクリックし、メイン地図画面の表示位置を索引図上でクリックした位置に移動できること。2画面が常時連携するほか、常時連携させないことも可能とする。
多画面表示	多画面表示	2つの地図画面を並べて表示できること。
	多画面同期表示	メイン地図の動きと同期しサブ地図画面も拡大/縮小・移動できること。
属性管理	基本属性	図形に対応するテキスト情報などを属性情報として関連付けて管理できること。
		作図した図形に対して関連する属性を入力し付与
		指定した図形に関連付く任意の属性の値を編集し、更新
		指定した図形に関連付く任意の属性の値を削除
	定型台帳入力	定型台帳にて入力
	調書出力	図形情報、属性情報をもとに地図つき、調書をEXCEL、PDF形式で出力できること。調書は単票形式でも一覧形式でも出力が可能であること。(例) 排水設備確認申請書、苦情要望処理簿を個票として出力可能とする。
検索	地図検索	ツリー形式で検索
		住所や目標物のキーワードを入力して対象の住所や目標物の位置を地図表示できること。検索キーワードを入力すると曖昧検索され、その候補を表示すること(例)「学校」と入力すると、「五條市学校給食センター」「五條高等学校」「五條小学校」などの候補が即座に候補として選択できる
		リスト形式で検索
		地図検索項目を管理(追加・編集・削除)

機能名称		機能概要
	属性検索	検索条件を設定して属性データを検索し表示
		属性一覧画面で、絞り込み検索を実施
	空間検索	条件検索で表示された属性一覧より選択した属性情報に対応する地物を強調して地図表示
		属性情報から検索するだけでなく、図形情報から空間的に検索できること。 ・マウスで多角形を描くことで検索することができる ・マウスで指定したマイレイヤのポリゴンや、「処理分区」等のポリゴン上の排水設備・樹・建物を検索することができる。
印刷	地図印刷	画面表示した地図データを接続されているプリンタにて紙に印刷（多画面の地図画像の出力も対応）。
		画面表示した地図データを PDF 出力、画像出力（多画面の地図画像の出力も対応）
		印刷する地図縮尺を指定
		画面上で表示されている地図の範囲を印刷
	レイアウト印刷	印刷レイアウト（印刷時の地図や装飾の配置や大きさ）を自由に変更・設定
		印刷テンプレートとして保存された任意の印刷レイアウトを呼び出して印刷
		印刷する地図にタイトルや方位シンボル等の装飾を施す（タイトル、方位シンボル、スケールバー、縮尺文字列、索引図、地図凡例、主題図凡例、任意のテキスト、任意のピクチャ、属性情報、注意文、四隅座標、連続印刷番号）
	連続印刷	印刷枠を一つずつ配置し、一気に印刷できること。
		複数の印刷枠を、任意のライン上に配置し、路線ごとに一気に印刷するなどができること。
	定型図面印刷	下水道台帳図の出力を可能とするため、図面番号ごとの印刷が可能であること 図面番号は職員で任意に変更できること。あらかじめ設定した図郭のほか、SE 作業により図郭の追加を行えること。（例）1:500 図郭のほか、後から「1:2500 図郭」「住宅地図図郭」等を追加し、定型図面印刷が可能とすること。
計測	距離計測	地図上でマウスクリックにより指定した多点間の距離を計算する。
	面積計測	地図上でマウスクリックにより指定した多角形の面積を計測
解析等	ランク主題図	属性情報の値の範囲で地図上の図形色分け表示
	個別値主題図	属性情報の値で地図上の図形色分け、シンボルを表示できること。色分け等の表現を適用した主題図は、その凡例を画面上に常時表示しておくことができるほか、主題図表現を職員で自由に表現を変更することができること。

機能名称		機能概要
	クリップボードコピー	地図画面上でマウス操作により矩形領域を指定して、指定範囲を画像としてクリップボードに取り込む
出力	画像ファイル出力	表示中の地図を指定された用紙サイズで出力
	Shape エクスポート	Shape ファイル形式で、エクスポートできること。検索条件で絞りこんだ地物をエクスポートできること。
	DXF エクスポート	CAD データの交換フォーマットである DXF ファイルのインポートができること
	CSV エクスポート	属性情報を CSV ファイルにエクスポートできること。検索条件で絞りこんだ属性情報をエクスポートできること。
入力	Shape インポート	シェープファイルのインポートが可能であること。インポート対象は、新規レイヤを作成するか、既存のレイヤに追加するかを選択できること。
	EXIFインポート	Exif情報のインポートが可能であること。デジタルカメラやスマートフォンで撮影した位置情報付きの写真が地図上に取り込めること。
	DXF インポート	CAD データの交換フォーマットである DXF ファイルのインポートができること
	属性情報インポート	テキストファイル、CSV ファイルをもとに属性情報をインポートできること。既存レイヤの属性情報を更新できること。既存レイヤの属性情報に追加できること。

(2) 下水道専用機能

	機能名称	機能概要
属性管理	属性表示	下水道施設の属性を表示
	属性検索	下水道施設の属性を検索
	ファイリング	図形と関連付けられたファイルを表示・閲覧
入力・編集	線図形入力・編集	管渠等の線図形データの入力及び修正ができること。管渠の流下方向を示す流下矢印を下流人孔側に自動発生させること。
	シンボル入力・編集	人孔等のポイント図形データの入力及び修正ができること。
	テキスト入力・編集	テキストデータの入力及び修正ができること。管渠注記は管渠注記引き出し線を自動発生できること。
	オフセット入力	指定した施設にオフセット線と注記の入力ができること。
	管路分割	指定した点で管路を分割できること。その際管渠や人孔のキー値はシステム内で重複を発生させないようにすること。
	スナップ処理	図形入力時に頂点や線上に接続することができること。
	削除	施設を削除
	属性編集	属性情報の新規入力及び編集できること。属性情報に従い管渠の断面形状、注記文字を自動で修正すること。
	注記文字自動表示	入力した属性データから自動的に注記文字を発生する。
	同時編集	将来的な台数の拡張を鑑み、複数PCで同時に編集できること。拡張時には、システムは職員端末PCでの閲覧、編集を可能とすること。同時に同じ図形を編集した際の不具合を避けるため、編集モードになった図形には排他制御を行うこと。
上下流追跡	ネットワーク追跡	指定した施設から終着点までの全ての施設をネットワーク追跡し抽出し、強調表示することができること。上流追跡の際には管渠、人孔、枳を追跡し、下流追跡の際には管渠、人孔を追跡すること。
	一覧表示	上下流追跡により抽出された施設の一覧を表示し、Excel データまたは CSV データとして出力できること。
縦断面図作成	縦断面図作成	指定した任意の施設の縦断面図を自動作成
	平面図作成	指定した範囲の平面図を自動作成
	横断面図作成	指定した箇所の横断面図を自動作成
	出力	縦横断面図面を印刷または CAD 形式で出力

(3) 窓口用機能

機能名称		機能概要
地図表示	8 方向矢印	8 方向の矢印ボタンをクリックすることでクリックした矢印の方向に地図を移動
	地図をタッチ	地図画面のタッチした箇所が地図の中央となるように移動
	拡大	拡大ボタンをタッチすることで一定の割合で地図が拡大
	縮小	縮小ボタンをタッチすることで一定の割合で地図が縮小
	凡例表示	図ごとに凡例を表示
	上下水表示切替	上水と下水の画面表示を切り替え
検索	住所検索	指定した地点の上下水道施設情報を表示
	地番検索	町丁目を選択し地番を入力して、対象の地番の位置を地図表示
	目標物検索	目標物を入力して、対象の位置を地図表示
	地図検索	地図画面上から、対象の位置を地図表示
印刷	図面印刷	画面に表示された図面を印刷
	用紙サイズ変更	印刷の用紙サイズを変更
その他	ログ管理	印刷枚数等のログを管理
	放置時間超過	一定時間操作がない場合、TOP ページに戻る画面を表示
	操作時間超過	設定した時間を超過した場合、TOP ページに戻る画面を表示

別紙2：移行対象データ一覧

(1) 背景に関するレイヤ

NO.	項目名	搭載レイヤ数	データ形式
1	背景図(索引図・図郭割他)	4	TIFF、GEOTIFF
2	地形図(2500)	20	SHAPE
3	地形図(10000)	19	SHAPE
4	追加地形	1	SHAPE
5	地籍図	2	SHAPE
6	MMS(道路中心線)	-	SHAPE
7	MMS(計測ポイント)	-	SHAPE
8	分区	2	SHAPE
9	下水背景(汚水・雨水)	2	SHAPE
10	下水道施設	10	SHAPE
11	排水設備	1	SHAPE
12	公示	1	SHAPE
13	その他職員にて登録しているデータ及びメモ	13	SHAPE

(2) リンクデータ (画像・ファイル)

NO.	項目名	搭載データ量	データ形式
1	竣工図	8.2GB	-
2	排水設備	11.9GB	-
3	管渠	34.3GB	-
4	人孔		-
5	排水設備		-
6	柵		-

(3) 新規搭載データ

NO.	項目名	搭載レイヤ数	データ形式
1	住宅地図	搭載バージョンの内容を踏まえて決定	SHAPE